

平成27年3月19日  
(資料提供)

(事務担当)  
所属名：農林総合研究センター  
農業試験場 総合研究部  
病虫害防除室  
直通：257-6972

### 平成26年度病虫害発生予報第8号について

今後発生が予想される、水稻、大麦、果樹、野菜、花きの病虫害の、発生量や防除上の注意事項などを掲載する。

1 予報期間 3月下旬～4月下旬

2 予報内容

(1) 水稻

苗立枯病（ピシウム菌）の発生はやや多と予想される。育苗資材や施設の洗浄・消毒を励行する。育苗期間中の温度管理、水管理を適正に行う。

(2) 大麦

オオムギ赤かび病の発生は、やや少と予想される。出穂期の3～5日後およびその7～10日後の2回防除する。

(3) 果樹

かき炭疽病の発生は、やや多と予想される。罹病枝は発生源となるので直ちに切り、圃場から除去する。休眠期の防除を徹底する。

(4) 野菜

施設野菜の灰色かび病の発生は、やや多と予想される。ハウス内の換気に努め、発生初期の防除を徹底する。

※病虫害防除の実施に当たっては、最新の農薬使用基準を確認し、遵守する。